

課題整理

【前回の審議会での主な意見】

- 将来的には距離として近い学校が望ましいが、通学路の安全確保が必要である。
- スクールバスの運行期間及び対象者を定め、早めに周知をしていく必要がある。
- 再編に伴い、登下校時に下級生のみとなる場合や人数が著しく少ない場合等、通学班の編成や通学路の安全確保をふまえ、入学する学校について、教育委員会の弾力的な対応が必要となるのではないか。

【意見ふまえた事務局案】

◎スクールバスについて

- 目的：在校生（通学区域の再編が行われた学校の児童）への通学支援。負担軽減のため。
- 対象校：吹上小学校
- 運行期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日
- 対象：地域の全ての児童対象

◎通学区域の弾力化での対応

- 期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日
（スクールバスが運行する期間）
- 認める理由：経過措置により吹上小学校へ通学する在校生児童が多数となることを想定し、新入学児童のみとなるなど、通学班が組めないといった場合において、安全確保を優先とする。